

## 大都市データ

川崎市をはじめ19の政令指定都市と東京都区部の20大都市は「大都市統計協議会」を設置して、各都市の各種統計情報を集約し、毎年「大都市比較統計年表」を作成、発行しています。

ここでは、「大都市比較統計年表(平成22年)」などをもとに、主要な統計情報からみた川崎市及び各都市の特徴をまとめました。



# 1

## 人口・世帯数及び面積

■人口密度は高く大都市で第3位

都市名	政令指定都市への移行年月日	区数	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(k㎡)	人口密度(人/k㎡)	昼夜間人口比率(常住人口=100)	平成23年度当初予算額(百万円)
1	東京都区部	-	8,966,679	4,572,621	621.98	14,416	130.9	6,236,000
2	大阪府大阪市	昭和31.9.1	2,670,579	1,329,516	222.47	12,004	132.8	1,720,550
3	川崎市	昭和47.4.1	<b>1,430,773</b>	<b>666,787</b>	<b>144.35</b>	<b>9,912</b>	<b>89.5</b>	<b>618,022</b>
4	横浜市	昭和31.9.1	3,691,693	1,594,871	434.98	8,487	91.5	1,389,914
5	名古屋市	昭和31.9.1	2,266,517	1,028,853	326.43	6,943	113.5	1,049,914
6	さいたま市	平成15.4.1	1,237,926	533,292	217.49	5,692	92.8	440,890
7	堺市	平成18.4.1	842,685	348,070	149.99	5,618	94.4	342,900
8	福岡市	昭和47.4.1	1,479,433	720,396	341.32	4,334	111.9	766,182
9	千葉市	平成4.4.1	963,120	409,301	272.08	3,540	97.5	358,200
10	神戸市	昭和31.9.1	1,544,496	689,604	552.83	2,794	102.6	745,229
11	相模原市	平成22.4.1	719,412	306,383	328.83	2,188	87.9	233,800
12	北九州市	昭和38.4.1	974,287	423,594	487.89	1,997	102.7	547,454
13	京都市	昭和31.9.1	1,473,416	685,904	827.90	1,780	108.5	746,475
14	札幌市	昭和47.4.1	1,921,935	897,968	1,121.12	1,714	100.6	846,400
15	仙台市	平成元.4.1	1,049,493	469,784	788.09	1,332	107.3	441,156
16	広島市	昭和55.4.1	1,177,711	517,194	905.41	1,301	102.1	608,441
17	新潟市	平成19.4.1	812,458	315,637	726.10	1,119	101.8	359,600
18	岡山市	平成21.4.1	710,913	298,607	789.91	900	104.2	255,484
19	浜松市	平成19.4.1	798,924	300,987	1,558.04	513	99.7	275,000
20	静岡市	平成17.4.1	714,513	281,222	1,411.85	506	103.3	276,200

\*人口・世帯数は平成23年10月1日現在。但し、岡山市の世帯数は平成23年9月末現在の住民基本台帳人口を掲載。  
 \*区数・面積は平成23年10月1日時点で、面積は各自治体がHP等で公表している数値 \*昼夜間人口比率は平成22年国勢調査。  
 \*平成23年度当初予算額の東京都区部は、「都」の数値。

### データチェック

人口及び世帯数が最も多いのは東京都区部で、次いで横浜市、大阪市の順となっており、川崎市は人口、世帯数ともに第9位となっています。また、面積が最も広いのは浜松市で、次いで静岡市、札幌市の順となっており、川崎市は最も狭く第20位です。人口密度では東京都区部が最も高く、次いで大阪市、川崎市の順となっています。昼夜間人口比率をみると、大阪市が最も高く、次いで東京都区部、名古屋市の順となっています。一方、昼夜間人口比率が最も低いのは相模原市で、次いで川崎市、横浜市の順となっています。

# 2

## 人口動態

■人口増加比率は大都市で第4位

(単位:人、%) (平成22年中)

都市名	人口増加(自然増加+社会増加)	自然動態			社会動態			人口増加比率(人口増加数/人口)		
		自然増加	出生	死亡	社会増加	市(都)外との移動	市(都)内移動		その他の増減	
1	相模原市	5,398	1,307	6,143	4,836	4,091	709	-	3,382	0.75%
2	福岡市	11,004	4,450	14,656	10,206	6,554	4,544	41	1,969	0.75%
3	さいたま市	8,928	2,606	11,299	8,693	6,322	5,829	-	493	0.73%
4	川崎市	<b>10,283</b>	<b>5,281</b>	<b>14,799</b>	<b>9,518</b>	<b>5,002</b>	<b>5,137</b>	-	<b>▲135</b>	<b>0.72%</b>
5	千葉市	5,956	1,221	8,310	7,089	4,735	4,035	-	700	0.62%
6	東京都区部	43,814	2,039	74,100	72,061	41,775	32,925	38	8,812	0.50%
7	広島市	4,023	2,370	11,509	9,139	1,653	2,311	3	▲661	0.34%
8	仙台市	3,214	1,982	9,365	7,383	1,232	891	28	313	0.31%
9	札幌市	4,893	▲699	14,748	15,447	5,592	5,434	-	158	0.26%
10	横浜市	8,389	5,174	32,747	27,573	3,215	2,241	88	886	0.23%
11	大阪市	4,220	▲3,330	23,617	26,947	7,550	7,550	...	...	0.16%
12	岡山市	873	668	6,786	6,118	205	205	-	-	0.12%
13	名古屋市	1,143	1,365	20,648	19,283	▲222	▲1,161	112	827	0.05%
14	神戸市	842	▲1,479	12,979	14,458	2,321	2,431	20	▲130	0.05%
15	堺市	301	221	7,622	7,401	80	41	-	39	0.04%
16	新潟市	▲618	▲1,078	6,552	7,630	460	416	-	44	▲0.08%
17	京都市	▲1,775	▲1,664	11,749	13,413	▲111	▲433	▲300	622	▲0.12%
18	静岡市	▲1,579	▲1,241	5,858	7,099	▲338	▲475	-	137	▲0.22%
19	北九州市	▲2,479	▲1,832	8,369	10,201	▲647	▲870	▲81	304	▲0.25%
20	浜松市	▲2,874	416	7,466	7,050	▲3,290	▲3,369	-	79	▲0.36%

\*大阪府は「市外との移動」に「市内移動」を含む。

### データチェック

平成22年1年間の川崎市の人口増加数は1万283人となっています。人口増加数が1万人を超えているのは、川崎市の他、東京都区部、福岡市となっています。

# 3

## 年齢別人口

■生産年齢人口構成比は大都市で最も高く、平均年齢は最も低い

(単位:人)(平成22年10月1日)

都市名	総数	年齢階級別						平均年齢
		15歳未満	構成比	15~64歳	構成比	65歳以上	構成比	
1 川崎市	1,425,512	185,571	13.1%	988,540	70.0%	237,298	16.8%	41.5
2 福岡市	1,463,743	191,824	13.3%	997,884	69.1%	254,085	17.6%	41.9
3 仙台市	1,045,986	136,832	13.3%	703,379	68.2%	191,722	18.6%	42.3
4 相模原市	717,544	93,750	13.1%	481,281	67.5%	138,094	19.4%	42.8
5 さいたま市	1,222,434	166,926	13.8%	813,060	67.0%	233,564	19.2%	42.8
6 広島市	1,173,843	167,793	14.5%	755,983	65.5%	231,145	20.0%	43.1
7 横浜市	3,688,773	486,262	13.3%	2,440,385	66.6%	736,216	20.1%	43.4
8 岡山市	709,584	100,175	14.3%	450,108	64.2%	151,140	21.5%	43.6
9 名古屋	2,263,894	289,642	13.0%	1,463,977	65.8%	471,879	21.2%	43.8
10 東京都	8,945,695	946,290	10.8%	6,061,805	69.0%	1,771,978	20.2%	43.9
11 千葉市	961,749	123,972	13.3%	606,496	65.3%	198,850	21.4%	44.0
12 堺市	841,966	117,750	14.0%	531,324	63.4%	189,318	22.6%	44.3
13 札幌市	1,913,545	224,212	11.7%	1,292,313	67.7%	391,796	20.5%	44.4
14 京都市	1,474,015	171,090	11.9%	935,200	65.1%	330,047	23.0%	44.6
15 浜松市	800,866	112,093	14.1%	499,213	63.0%	181,347	22.9%	44.7
16 大阪市	2,665,314	308,093	11.7%	1,734,432	65.7%	598,835	22.7%	44.8
17 神戸市	1,544,200	194,963	12.7%	980,959	64.1%	354,218	23.1%	45.0
18 新潟市	811,901	103,346	12.8%	516,311	64.0%	187,371	23.2%	45.3
19 静岡市	716,197	91,673	12.9%	444,745	62.4%	176,033	24.7%	45.9
20 北九州市	976,846	126,391	13.0%	599,183	61.7%	244,860	25.2%	46.1

\*総数には年齢不詳を含む。

(国勢調査)

### データチェック

15歳未満(年少)人口の構成比が最も高いのは広島市で、次いで岡山市、15~64歳(生産年齢)人口の構成比が最も高いのは川崎市で、次いで福岡市となっています。また、65歳以上(老年)人口の構成比が最も高いのは北九州市で、最も低いのは川崎市となっています。平均年齢は、川崎市が最も低く41.5歳で、最も高いのは北九州市の46.1歳となっています。

# 4

## 就業者数

■労働力率は大都市で第2位

(単位:人)(平成22年10月1日)

都市名	15歳以上人口		労働力人口			非労働力人口	労働力率 B/A
	総数	うち労働力状態不詳を除く(A)	総数(B)	就業者	完全失業者		
1 東京都	7,833,783	6,587,656	4,365,163	4,111,983	253,180	2,222,493	66.3%
2 川崎市	1,225,838	1,034,871	673,411	638,433	34,978	361,460	65.1%
3 相模原市	619,375	540,122	350,019	330,058	19,961	190,103	64.8%
4 名古屋市	1,935,856	1,787,877	1,154,741	1,087,196	67,545	633,136	64.6%
5 福岡市	1,251,969	1,119,118	716,707	663,826	52,881	402,411	64.0%
6 浜松市	680,560	671,163	425,434	399,573	25,861	245,729	63.4%
7 広島市	987,128	934,862	590,733	557,475	33,258	344,129	63.2%
8 大阪市	2,333,267	1,992,460	1,257,298	1,143,389	113,909	735,162	63.1%
9 さいたま市	1,046,624	987,871	621,097	585,742	35,355	366,774	62.9%
10 横浜市	3,176,601	2,885,826	1,803,113	1,703,374	99,739	1,082,713	62.5%
11 静岡市	620,778	607,076	378,629	357,916	20,713	228,447	62.4%
12 千葉市	805,346	737,145	458,125	430,838	27,287	279,020	62.1%
13 京都市	1,265,247	1,171,213	727,184	680,855	46,329	444,029	62.1%
14 新潟市	703,682	673,453	410,348	387,416	22,932	263,105	60.9%
15 岡山市	601,248	597,529	363,150	332,578	30,572	234,379	60.8%
16 堺市	720,642	645,689	390,588	362,048	28,540	255,101	60.5%
17 仙台市	895,101	825,742	496,932	459,480	37,452	328,810	60.2%
18 札幌市	1,684,109	1,565,532	932,871	861,037	71,834	632,661	59.6%
19 北九州市	844,043	797,609	460,697	425,369	35,328	336,912	57.8%
20 神戸市	1,335,177	1,240,387	715,817	665,482	50,335	524,570	57.7%

\*15歳以上人口総数には労働力状態不詳を含む。

(国勢調査)

### データチェック

就業者数が最も多いのは東京都区部で、次いで横浜市、大阪市の順で、川崎市は第9位となっています。労働力率が最も高いのは東京都区部で、次いで川崎市、相模原市の順となっています。

## 5

## 事業所(民営)

■従業者300人以上の事業所の構成比は大都市で第2位

(単位:事業所)(平成21年7月1日)

都市名	総事業所数	従業者規模別事業所数				300人以上の構成比
		1人~29人	30人~299人	300人以上	派遣従業者のみ	
1 東京都区部	547,610	506,216	37,214	2,464	1,716	0.450%
2 川崎市	<b>43,525</b>	<b>40,600</b>	<b>2,685</b>	<b>146</b>	<b>94</b>	<b>0.335%</b>
3 千葉市	30,198	27,728	2,295	93	82	0.308%
4 大阪市	208,289	194,510	12,419	632	728	0.303%
5 横浜市	121,943	113,144	8,191	358	250	0.294%
6 福岡市	73,601	68,251	4,941	189	220	0.257%
7 名古屋市	130,787	121,807	8,136	331	513	0.253%
8 札幌市	79,415	74,097	4,854	197	267	0.248%
9 仙台市	48,006	44,588	3,121	115	182	0.240%
10 京都市	80,349	76,138	3,849	191	171	0.238%
11 さいたま市	43,066	39,890	2,949	102	125	0.237%
12 新潟市	38,003	35,625	2,169	79	130	0.208%
13 広島市	57,209	53,608	3,312	118	171	0.206%
14 神戸市	72,748	68,356	4,015	149	228	0.205%
15 北九州市	47,064	44,365	2,523	92	84	0.195%
16 浜松市	38,771	36,493	2,102	74	102	0.191%
17 堺市	31,446	29,498	1,809	56	83	0.178%
18 静岡市	39,089	36,938	1,973	65	113	0.166%
19 岡山市	32,983	30,855	1,941	49	138	0.149%

(経済センサス-基礎調査)

データ  
チェック

事業所数は東京都区部が最も多く、次いで大阪市、名古屋市の順となっています。  
また、事業所の従業者規模別をみると、300人以上の事業所の構成比は東京都区部が最も高く、次いで川崎市は第2位となっています。

## 6

## 工業(従業者4人以上の事業所)

■従業者1人当たり製造品出荷額等は大都市で第1位

(単位:事業所、人、百万円)(平成22年12月31日)

都市名	事業所数			従業者数	製造品出荷額等	従業者1人 当たり製造品 出荷額等
	総数	4~29人	30人以上			
1 川崎市	<b>1,452</b>	<b>1,223</b>	<b>229</b>	<b>51,990</b>	<b>4,079,313</b>	<b>78.46</b>
2 堺市	1,592	1,306	286	51,099	3,225,587	63.12
3 仙台市	556	449	107	17,234	963,206	55.89
4 千葉市	478	363	115	20,950	1,063,173	50.75
5 横浜市	2,800	2,301	499	100,203	4,336,315	43.28
6 広島市	1,344	1,089	255	51,024	2,192,305	42.97
7 神戸市	1,864	1,528	336	70,267	2,983,434	42.46
8 北九州市	1,133	844	289	51,964	2,128,864	40.97
9 静岡市	1,599	1,358	241	46,450	1,697,201	36.54
10 京都市	2,689	2,367	322	65,261	2,192,605	33.60
11 岡山市	855	655	200	28,353	906,122	31.96
12 相模原市	1,061	879	182	37,069	1,161,037	31.32
13 名古屋市	4,775	4,236	539	106,668	3,305,888	30.99
14 大阪市	6,873	6,107	766	128,897	3,566,885	27.67
15 新潟市	1,142	894	248	37,331	1,019,064	27.30
16 福岡市	892	744	148	21,283	566,020	26.59
17 さいたま市	1,057	897	160	29,216	776,848	26.59
18 浜松市	2,323	1,861	462	76,309	2,014,577	26.40
19 東京都区部	11,921	11,009	912	179,052	3,522,736	19.67
20 札幌市	950	763	187	28,066	469,561	16.73

(工業統計調査)

データ  
チェック

製造品出荷額等が最も多いのは横浜市で、次いで川崎市、大阪市の順となっています。  
また、従業者1人当たりの製造品出荷額等では、川崎市は第1位と高い労働生産性を示しています。

## 7

## 商業

■1事業所当たり年間商品販売額は大都市で第10位

(単位:事業所、人、億円)(平成19年6月1日)

都市名	卸 売 業			小 売 業			1事業所当たり 年間商品販売額
	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額	
1 東京都区部	41,921	747,804	1,612,152	77,302	561,786	133,238	14.64
2 名古屋市	12,853	167,439	270,656	19,759	153,086	31,917	9.28
3 大阪市	21,675	283,346	427,526	31,521	197,855	45,479	8.89
4 福岡市	7,286	88,773	120,054	13,154	98,809	19,072	6.81
5 仙台市	4,745	53,363	69,230	8,012	71,362	12,682	6.42
6 広島市	4,746	50,815	63,435	9,126	70,170	13,532	5.55
7 札幌市	5,551	63,482	66,664	10,772	111,543	21,335	5.39
8 千葉市	1,692	22,140	26,004	5,476	55,834	11,207	5.19
9 さいたま市	2,576	30,926	34,732	7,028	65,076	12,609	4.93
10 川崎市	<b>1,629</b>	<b>22,203</b>	<b>24,748</b>	<b>7,476</b>	<b>63,117</b>	<b>11,659</b>	<b>4.00</b>
11 横浜市	5,634	66,299	60,688	20,398	182,313	37,194	3.76
12 岡崎市	2,390	26,054	19,795	5,968	43,991	8,599	3.40
13 新潟市	2,905	29,212	26,310	7,854	52,095	9,410	3.32
14 静岡市	2,926	26,129	25,311	7,571	45,665	8,072	3.18
15 浜松市	2,374	21,287	19,668	7,081	48,385	9,377	3.07
16 神戸市	4,625	46,600	40,654	14,607	99,619	17,964	3.05
17 京都市	5,726	57,590	35,553	16,834	110,389	20,137	2.47
18 堺市	1,512	14,708	10,005	5,767	44,289	7,828	2.45
19 北九州市	2,652	25,668	19,787	10,696	65,793	10,904	2.30

(商業統計調査)

データ  
チェック

卸売業では、事業所数、従業者数、年間商品販売額の3項目とも東京都区部が最も多く、次いで大阪市、名古屋市の順となっています。

小売業では、事業所数、従業者数、年間商品販売額の3項目とも東京都区部が最も多く、次いで大阪市、横浜市の順となっています。

また、卸売業と小売業の年間商品販売額を合せて算出した1事業所当たり年間商品販売額は、東京都区部が最も多く、次いで名古屋市、大阪市の順になっており、川崎市は第10位となっています。

## 8

## 貿易

■外国貿易海上輸出入額の総額は大都市で第7位

(単位:10億円、千トン)(平成22年)

都市名	外国貿易海上輸出入額			海上輸(移)出入貨物数量			
	総額	輸出	輸入	輸出	輸入	移出	移入
1 名古屋市	12,710	8,940	3,770	50,043	76,071	29,956	29,633
2 東京都区部	12,134	4,607	7,527	13,575	31,575	11,433	20,932
3 横浜市	10,336	7,103	3,233	41,922	45,291	17,949	24,532
4 神戸市	7,559	5,154	2,404	22,400	25,389	15,040	22,703
5 大阪市	7,018	3,256	3,762	10,053	25,095	21,768	28,368
6 千葉市	4,414	1,068	3,346	2,080	14,213	3,898	9,018
7 川崎市	<b>3,373</b>	<b>1,202</b>	<b>2,171</b>	<b>7,616</b>	<b>51,069</b>	<b>17,042</b>	<b>10,501</b>
8 福岡市	2,154	1,435	719	6,279	10,316	3,510	9,577
9 静岡市	2,124	1,455	669	3,838	6,645	1,410	3,748
10 北九州市	1,870	1,038	832	6,773	23,761	33,695	34,616
11 堺市	1,616	402	1,214	913	19,427	7,637	6,871
12 広島市	1,178	950	229	3,368	1,712	2,412	2,418
13 仙台市	773	299	474	1,876	8,041	6,788	8,206
14 岡崎市	540	105	435	8	-	277	1,180
15 新潟市	523	116	407	1,121	13,020	6,173	8,483
16 京都市	158	130	28	-	-	-	-
- 浜松市	-	-	-	-	-	-	-
- さいたま市	-	-	-	-	-	-	-
- 札幌市	-	-	-	-	-	-	-
- 相模原市	-	-	-	-	-	-	-

データ  
チェック

外国貿易海上輸出入額の総額をみると、最も多いのは名古屋市で、次いで東京都区部、横浜市の順となっています。川崎市は第7位となっており、輸出額に比べて輸入額が多くなっています。

また、外国貿易を示す海上輸出入貨物数量では、輸出・輸入ともに名古屋市が最も多くなっています。川崎市は輸出货量に比べて輸入量が多く、輸入量は名古屋市に次いで第2位となっています。

国内貿易を示す海上移出入貨物数量では、移出・移入ともに北九州市が最も多くなっています。

# 9

## 住宅

■ 民営借家に住む世帯の割合は大都市で4番目に高い

(単位:世帯)(平成22年10月1日)

都市名	住宅に住む一般世帯	持ち家	借家				間借り	持ち家割合	民営借家割合	
			公営借家	都市機構・公社借家	民営借家	給与住宅				
1	福岡市	697,101	261,833	33,856	32,123	337,710	25,149	6,430	37.6%	48.4%
2	大阪市	1,297,733	547,849	105,770	40,527	564,260	24,663	14,664	42.2%	43.5%
3	東京都区部	4,467,330	1,974,012	179,837	140,479	1,928,585	163,227	81,190	44.2%	43.2%
4	川崎市	<b>640,874</b>	<b>303,158</b>	<b>20,064</b>	<b>11,012</b>	<b>275,429</b>	<b>23,469</b>	<b>7,742</b>	<b>47.3%</b>	<b>43.0%</b>
5	札幌市	879,156	425,249	30,397	7,917	376,805	20,693	18,095	48.4%	42.9%
6	仙台市	460,105	224,767	12,288	4,379	194,644	19,480	4,547	48.9%	42.3%
7	岡山市	293,815	164,979	6,840	766	110,385	8,471	2,374	56.2%	37.6%
8	京都市	673,663	361,453	24,670	14,858	252,885	12,632	7,165	53.7%	37.5%
9	広島市	503,971	265,478	19,874	2,254	188,892	21,095	6,378	52.7%	37.5%
10	名古屋市	999,950	474,499	75,586	29,827	372,125	37,790	10,123	47.5%	37.2%
11	相模原市	298,519	177,348	6,450	6,223	97,777	6,686	4,035	59.4%	32.8%
12	北九州市	413,200	223,404	34,163	14,279	124,490	12,063	4,801	54.1%	30.1%
13	さいたま市	493,840	301,470	10,878	8,071	148,083	20,073	5,265	61.0%	30.0%
14	横浜市	1,543,521	907,141	45,985	55,220	461,968	50,920	22,287	58.8%	29.9%
15	浜松市	295,800	187,848	8,053	1,410	87,339	7,994	3,156	63.5%	29.5%
16	静岡市	275,685	171,189	10,273	1,378	81,149	9,090	2,606	62.1%	29.4%
17	新潟市	310,412	204,268	6,920	377	89,135	6,604	3,108	65.8%	28.7%
18	神戸市	678,102	386,147	57,570	31,893	179,121	18,140	5,231	56.9%	26.4%
19	千葉市	397,617	237,736	13,121	30,665	98,734	13,756	3,605	59.8%	24.8%
20	堺市	340,616	201,451	31,062	24,753	73,705	6,280	3,365	59.1%	21.6%

(国勢調査)

### データチェック

住宅に住む一般世帯のうち、持ち家に住む世帯の割合が最も高いのは新潟市で、次いで浜松市、静岡市となっており、川崎市は福岡市、大阪市、東京都区部に次いで4番目に低くなっています。

一方、民営借家に住む世帯の割合は、福岡市が最も高く、次いで大阪市、東京都区部、川崎市の順となっています。

# 10

## 消費者物価地域差指数

■ 消費者物価地域差指数(総合・食料)は大都市で3番目に高い

(平成19~21年は全国 = 100、平成22年は51市平均 = 100)

都市名	平成19年平均		平成20年平均		平成21年平均		平成22年平均		
	総合	食料	総合	食料	総合	食料	総合	食料	
1	横浜市	110.4	108.2	110.2	108.2	110.2	108.1	106.8	105.9
2	東京都区部	110.9	108.4	110.4	107.9	110.0	107.5	106.5	106.5
3	川崎市	<b>108.5</b>	<b>108.1</b>	<b>108.3</b>	<b>107.9</b>	<b>108.5</b>	<b>107.8</b>	<b>105.5</b>	<b>104.1</b>
4	さいたま市	104.6	104.8	104.7	104.7	104.5	103.7	102.5	102.9
5	神戸市	103.9	104.6	103.8	104.9	103.5	104.8	101.7	102.8
6	京都市	106.0	107.3	105.6	107.0	105.3	105.8	101.6	100.2
7	大阪市	107.2	106.1	107.0	105.4	107.1	106.2	101.3	100.7
7	広島市	101.9	101.1	102.5	101.9	102.5	102.4	101.3	102.0
9	堺市	...	...	...	...	...	...	100.8	102.1
10	岡山市	104.5	106.1	105.6	106.9	104.0	105.5	99.8	99.0
11	札幌市	103.1	100.3	103.4	100.7	103.2	100.7	99.3	95.2
12	名古屋市	104.8	105.4	104.6	105.3	104.8	105.6	99.2	97.9
13	静岡市	105.1	103.0	105.5	103.8	105.5	105.3	99.1	98.3
14	新潟市	102.7	100.4	102.4	99.9	102.0	99.3	98.7	96.9
15	千葉市	102.2	102.1	102.0	100.9	101.6	99.7	98.4	100.7
16	仙台市	99.8	97.5	99.5	96.9	99.5	97.0	98.0	97.4
17	浜松市	...	...	...	...	...	...	97.5	97.5
18	福北岡	100.7	100.6	100.1	99.6	100.0	98.9	97.4	95.2
19	相模原	99.5	100.4	99.2	100.0	99.5	100.0	97.1	97.0
-		...	...	...	...	...	...	...	...

### データチェック

平成22年の消費者物価地域差指数(51平均を100とした場合の地域ごとの年平均指数)をみると、総合では横浜市が最も高く、次いで東京都区部、川崎市の順となっており、食料では東京都区部が最も高く、次いで横浜市、川崎市の順となっています。

また、平成22年平均の総合で51市平均を下回っているのは、岡山市、札幌市、名古屋市など10市となっており、食料では岡山市、静岡市、名古屋市など9市となっています。

# 市民経済計算

■1人当たり市民所得は大都市で第2位

(単位:百万円)(平成21年度)

都市名	市民所得				雇用者報酬割合	財産所得割合	企業所得割合	1人当たり市民所得(千円)
	総額	雇用者報酬	財産所得	企業所得				
1 東京都	50,282,300	34,479,800	377,900	15,424,600	68.6%	0.8%	30.7%	3,847
2 川崎市	<b>4,915,269</b>	<b>3,619,367</b>	<b>39,434</b>	<b>1,256,468</b>	<b>73.6%</b>	<b>0.8%</b>	<b>25.6%</b>	<b>3,487</b>
3 名古屋市	6,977,293	4,971,344	183,071	1,822,878	71.3%	2.6%	26.1%	3,090
4 広島市	3,566,965	2,573,386	60,938	932,641	72.1%	1.7%	26.1%	3,048
5 福岡市	4,382,947	2,864,527	137,855	1,380,565	65.4%	3.1%	31.5%	3,018
6 さいたま市	3,651,723	2,695,460	115,374	840,890	73.8%	3.2%	23.0%	3,012
7 大阪市	8,007,376	5,598,347	237,054	2,171,975	69.9%	3.0%	27.1%	3,008
8 横浜市	10,811,548	8,039,952	204,478	2,567,118	74.4%	1.9%	23.7%	2,940
9 千葉市	2,806,951	2,114,815	66,612	625,524	75.3%	2.4%	22.3%	2,938
10 神戸市	4,483,478	3,071,978	204,072	1,207,428	68.5%	4.6%	26.9%	2,909
11 京都市	4,257,908	2,821,497	87,462	1,348,949	66.3%	2.1%	31.7%	2,888
12 仙台市	2,880,121	2,066,812	38,436	774,873	71.8%	1.3%	26.9%	2,787
13 北九州市	2,601,123	1,842,263	102,804	656,057	70.8%	4.0%	25.2%	2,647
14 札幌市	4,688,381	3,232,089	103,270	1,353,022	68.9%	2.2%	28.9%	2,458
— 静岡市	…	…	…	…	…	…	…	…
— 堺市	…	…	…	…	…	…	…	…
— 新潟市	…	…	…	…	…	…	…	…
— 浜松市	…	…	…	…	…	…	…	…
— 岡山市	…	…	…	…	…	…	…	…
— 相模原市	…	…	…	…	…	…	…	…

## データチェック

市民所得総額をみると東京都が最も多く、次いで横浜市、大阪市の順となっており、川崎市は第5位となっています。1人当たりの市民所得は東京都が最も多く、次いで川崎市、名古屋市の順となっています。川崎市は348万7千円で大都市平均の315万4千円と比べ、33万3千円上回っています。

また、雇用者報酬の割合をみると千葉市が最も高く、次いで横浜市、さいたま市、川崎市の順となっています。

# 治安及び災害

■人口10万人当たりの交通事故発生件数は大都市で1番少ない

(単位:件)(平成22年)

都市名	交通事故発生件数		刑法犯認知件数及び検挙件数		
	総数	人口10万人当たりの交通事故発生件数	認知件数	検挙件数	人口1,000人当たりの認知件数
1 川崎市	<b>4,852</b>	<b>340.4</b>	<b>13,825</b>	<b>5,180</b>	<b>9.7</b>
2 東京都区部	36,390	406.8	141,461	43,833	15.8
3 横浜市	15,210	412.3	35,458	12,863	9.6
4 札幌市	8,024	419.3	26,507	8,047	13.9
5 千葉市	4,376	455.0	16,788	4,798	17.5
6 仙台市	4,990	477.1	12,419	3,721	11.9
7 新潟市	4,070	501.3	9,325	3,417	11.5
8 さいたま市	6,916	565.8	18,326	5,569	15.0
9 相模原市	4,106	572.2	9,879	3,345	13.8
10 広島市	6,793	578.7	14,896	4,952	12.7
11 大阪市	16,045	602.0	66,024	14,240	24.8
12 神戸市	9,692	627.6	24,329	7,451	15.8
13 京都市	9,342	633.8	27,832	6,932	18.9
14 堺市	5,340	634.2	15,127	2,956	18.0
15 名古屋市	17,021	751.8	54,454	15,825	24.1
16 福岡市	13,247	905.0	27,974	9,391	19.1
17 北九州市	8,859	906.9	17,463	6,815	17.9
18 静岡市	6,810	950.9	7,808	2,737	10.9
19 岡山市	7,903	1,113.8	11,127	3,229	15.7
20 浜松市	9,050	1,130.0	8,891	2,467	11.1

\*交通事故発生件数は、道路交通法の「道路上」での法規違反による事故数を集計したものである。

\*検挙件数は、発生地計上によるものである。

\*平成22年10月1日現在の人口で算出。

## データチェック

人口10万人当たりの交通事故発生件数は川崎市が最も少なく、次いで東京都区部、横浜市の順となっています。また、人口1,000人当たりの刑法犯認知件数は横浜市が最も少なく、川崎市は第2位となっています。

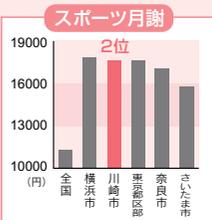
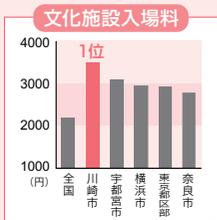


総務省「家計調査」の結果をみると、その都市に住んでいる世帯でどのような品物に多く支出しているのかがわかり、地域ごとの好みやライフスタイルの違いが読み取れます。最新の品目別平均支出額（平成21年～23年調査結果）をもとに、川崎市に住んでいる世帯が特に多く購入（支出）している品目の例をあげ、30年前の昭和56～58年の調査結果との比較を行いました。（川崎市が家計調査の対象都市に加わったのは昭和53年で、一部の品目については可能な限り古い統計と比較しています。）

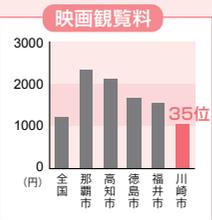
●「文化施設入場料」が第1位に（食料以外）

消費傾向を30年前と比較すると、文化施設や映画・演劇の入場料、スポーツ月謝などに関する支出が増えていることがわかります。前回調査（平成20年～22年平均）で第2位だった「文化施設入場料」は、最新の調査で第1位となりました。

●平成21～23年平均



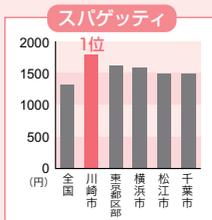
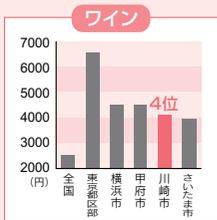
●昭和56～58年平均



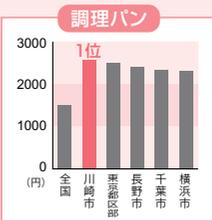
●スパゲッティは第1位、ワインは第4位（食料）

最新の調査結果をみると、しゅうまい、ハンバーガー、スパゲッティなどへの支出が多いことがわかります。ワインは甲府市に次ぐ第4位となりましたが、30年前はぶどう酒の品目で第17位でした。しゅうまいは30年前にも上位にランクしており、最新の調査でも横浜市に次ぐ第2位となっています。ハンバーガーについては、調理パンの品目で第1位でした。

●平成21～23年平均



●昭和56～58年平均



●平成12～14年平均



※「スパゲッティ」は、平成12年から単独の調査項目となりました。